

どのような基準で学業成績の結果を出したか。 【教育科学系】

・中心としては、授業の内容をどの程度きちんと把握し、理解ができているか、講義期間中の小レポートや期末のまとめのレポート等の内容を吟味し評価している。

毎回授業の最後に行う小テストに基づいて評価した。

基本的にはグループ活動における成果物を基本としている。
またこれらグループ活動への参加の度合いや貢献度も評価している。
さらに他者の評価等も参考にしている。

発表態度、課題への取り組み、レポート提出
教育の基礎知識はもちろんだが、教師としての人間性、感性をできる限り捉えるようにした。

・小児保健に関する課題レポートを課し、その内容およびレポート発表、討議への参加姿勢等を総合的に評価しました。

授業内の小レポートでは、本時の内容の理解の程度を把握することを主眼としているが、さらに自分なりの視点や課題を見つけて考察しているものには高評価を付した。
その他、事例検討に際しての記載内容やグループディスカッションへの参加態度、出席率等を考慮した。

2名の教員で話し合い、レポートの内容だけでなく、受講態度についても重視した。グループ活動のため、よくも悪くも他のメンバーの態度に影響を受けることが多いと思う。

テスト6割をやや平易な記述問題、4割は卒業時まで知っておいてもらいたい標準的な問題とした。

・出席証明として毎回書かせるコメントシート内容及び最終回の授業内テスト。
・全体に出席状況および授業態度はよかったが、テストにはばらつきがあった。

②のややそう思うの率が多くなっている。
学生のニーズをこれからも大切にしたい。

テキストの読解、mindmap、確認問題の回答、確認問題の復習としての期末の確認テストによって総合的に評価した。

授業・幼児教育への理解度について以下の割合で評価した。
授業内提出物30%、授業への参加度30%、レポートの提出40%

・毎回の授業課題および期末課題を総合的に判断した
・学生は積極的に課題に取り組み、授業内容についても概ね理解できたと考える

授業の中では、制作体験を数多く取り入れるようにしていますが、ただ単にものを制作するだけではなく、そのものを制作しようと思ったきっかけや経緯、制作の流れ、制作の中で工夫した点などを、レポート用紙にまとめてもらっています。そのレポートでは、特に図やイラストを取り入れるように指示しています。授業の中で制作したものとレポートの両方から、成績評価を出しています。

結果として実技内容が主になったため、3種類の課題への取組状況をそれぞれ7段階程度で評価した上で、総合的に評価した。

授業の振り返りや課題のレポートや、授業への参加度などにより総合的に評価した。

毎回授業で2点から4点の小テスト、ミニレポートを提出(合計30点)最終回の授業でテストを実施(合計60点)その他、授業態度等(10点)としています。

授業態度30%、小テスト、レポート70%

試験および提出物の合計

授業への積極的な参加態度、レポート

理解しているかどうかです。基本的な用語や概念、重要論点を把握できているか、認識を深めているか等を基準としました。

実技発表、グループ発表、小テスト2回、課題、提出物、授業への参加度で評価を行った。欠席によって多少評価に差が出たが、S～Bの範囲での成績評価となった。

レポートのテーマは授業で取り上げた内容から学生に自由に選択をしてもらい、レポートとして提出してもらっている。レポート評価を以下のような観点から行った。

- ①15回の講義の中からどのような視点でレポートテーマを見つけ、レポートしているか。
- ②レポート内容がどれくらい論理的で、わかりやすい文章表現ができているか。
- ③自分なりの考察が述べられているか。
- ④講義内容を中心としながら、文献を使っているか否か。

出席レポートを授業期間中に数回実施することで、期末の試験成績だけで評価することは控え、なるべく授業への参加態度など、授業期間中の態度も反映しながら最終的に成績評価を行った。

授業への参加度、出席状況、期末試験を総合的に評価した。

授業内で行った小レポートの提出率(出席)と、最終講義のレポートの質(講義内容を正確に理解できているのか、講義内容から発展して自分自身の考えを述べられているのか)を基に評価した。

授業内容の理解度を問う定期試験で評価した(100%)。ただし、欠席状況に応じて定期試験の成績から減点した。
定期試験の成績は全般的には良好であったが、一部に前述の「講義メモ」の復習が十分でなかったと史料されるケースが見られた。

授業態度及び意欲はもちろんですが、提出課題において、第1に授業内容の理解度、第2に出された課題に対して、どれだけ深くアプローチできているか、また、自分自身の意見を表現できているかを評価しました。

基本的な知識理解のほか、グループプレゼンテーションで評価しています。

〈社会保障論Ⅰ〉

まとめのテスト40%、毎回の授業での気づきやグループワークでの振り返りシートへの記入内容60%

〈社会保障論Ⅱ〉

まとめのレポート30%、各回の振り返りシート70%

いずれも気づきや振り返りについては、根拠が記されていること、他者の意見や気づきにもふれられていることを重視した。